

医工連携イノベーション推進事業（開発・事業化事業）
中間評価結果

1. 補助事業課題名 : DMD 特徴量をベースとした前額部脳波解析技術とパッチ式脳波計を用いたてんかん診断補助 SaMD 開発
2. 補助事業代表者氏名（所属） : 吉本 秀輔（PGV 株式会社）
3. 中間評価結果 : 留意事項を付した上で次年度の事業を継続する

<評価コメント>

本技術による診断補助情報の提供で医師の負担軽減等への貢献が期待できる。また、既存のてんかん診断システムとの対比で、本技術は容易な判別が可能となるシステムと考えられる。

しかしながら、POC 及びビジネスモデルに不明確な点がある。将来の出口を確定した上で、診断補助に資するエビデンスの明確化に努められることを期待する。

以上